

付録 36

偉大な国家、その代償はなにか

もし啓典の民（ユダヤ教徒、キリスト教徒、そしてイスラム教徒）が信仰し、義にかなった人生を保つならば、われわれは、かれらの罪を赦し、至福の天国へ入れるであろう。もし彼らがトーラー、福音書、そして主からここに啓示されたものを守っていたなら、彼らは頭上からも足元からも豊かな恵みを享受していただろう。彼らの中には正しい者もいるが、多くは悪を行う者である。[5:65-66]

もし諸共同体の人々が信仰し、正しい生活を守るなら、われわれは天と地から祝福を降り注いだであろう。[7:96]

神こそが、あなたの幸福と不幸を支配される方である……神こそが、あなたを富ませ、あるいは貧しくされる方である。[53:43, 48]

神の法を守る国家は、世界の諸国民の中で卓越すること、勝利、繁栄、そして幸福が保証されている（10:62-64、16:97、24:55、41:30-31）。

一方、神の法に背く国家は、悲惨な生活を招く（20:124）。

神の法を守る国家は、偉大な国家となることが保証されている。これは単なる理想主義的な夢ではない。神がすべてを完全に支配しておられる（10:61）ゆえに、その保証と約束は必ず実現するのである。

神の法を守る国家は、次のような特徴を持つとされている。

1. 人々に最大限の自由があること—信教の自由、言論の自由、旅行の自由、経済活動の自由が保障される（2:256、10:99、88:21-22）。
2. すべての人に対する人権の保証、人種、肌の色、信条、社会的地位、経済状況、政治的立場に関係なく、人権が保障される（5:8、49:13）。
3. すべての人の繁栄。神の経済システムは、富が常に循環すること、高利貸し（利子）の禁止、生産的な投資に基づいている。ギャンブル、宝くじ、高金利ローンなどの非生産的な経済は認められない（2:275-277、59:7）。

4. すべての人への社会的正義。義務の慈善（ザカート）によって、飢える者や住む場所のない者がいなくなる。(2:215、70:24-25、107:1-7)。

5. 全員一致の合意に基づく政治体制。

相互の協議と表現の自由を通して、ある問題について一方の意見が議論に参加するすべての人々を納得させる。最終的な結果は全員一致の合意であり、51%の多数派の意見が49%の少数派に無理やり押し付けられるものではない(42:38)。

6. 高い道徳的基準を維持する社会。強い家族制度が保たれ、アルコール依存、違法薬物、婚外妊娠、中絶、そして離婚がほとんどない社会になる。

7. 人々の生命と財産に最大限の敬意が払われる。したがって、人々の生命や財産に対する犯罪は存在しなくなる。

8. 愛・礼儀・平和・相互尊重の広がり是国内の人々の間だけでなく、他国との関係においても、愛と尊重が広がります(3:110、60:8-9)。

9. 環境保護は、資源の保全と浪費の禁止によって保証される(30:41)。